

黒川 顕 (教授・ゲノム進化研究室)

東北大学理学部地学科卒業、大阪大学大学院薬学研究科応用薬学専攻後期博士課程修了。奈良先端科学技術大学院大学准教授、東京工業大学大学院教授などを経て、2016年より国立遺伝学研究所に着任。

人生の転機

大学生の頃、火山の研究に没頭し、地下のマグマダイナミクスを解明すべく確率微分方程式と格闘していました。そんな折、恩師から木村資生博士の「分子進化の中立説」を紹介されたことが、私の人生の転機となりました。数学や物理が大好きで、生物学が最も苦手だった私にとって、この著作との邂逅は衝撃的でした。その魅力に取り憑かれ、当初の研究そっちのけでドップリ浸かってしまったのです。この経験が契機となり、大学院では生命科学へと舵を切りました。学位取得後は、分子進化学の研究者の門戸を叩き、得意とするコンピュータを駆使してゲノム科学研究の道を歩み始めました。現在も、ゲノム配列そのものにこだわったマイクロバイーム研究で挑戦を続けています。趣味はジャズ演奏(インプロビゼーション)、登山(フィールドワーク)、パン作り(培養)。

